

佐川急便東京 SC を応援する集団、東京レイダース通信(仮)

プレ創刊号そによ

～燃え上がれタマリク！サガワダービーの巻～ 02/11/02

はじめに... (佐川東京 SC とは?)

佐川東京 SC は、正式名称を「佐川急便株式会社東京支社サッカークラブ」といいます。1991年に同好会として発足後、着々と強化を重ね、2001年にはJFLに昇格。年間成績でいきなり4位につけた上、天皇杯では、J1の名古屋グランパスエイトを4-0で撃破。その試合は、内容的にも素晴らしく全国のサッカーファンにその名を轟かせました。そして今季、2年目となるJFLで、只今優勝街道絶賛バクシン中！

そんな我が佐川東京のスタイルは？といえば、3-4-2-1システムを基本に、相手や状況に合わせて、フォーメーションを推移させます。Jリーグクラスのディフェンス能力を誇る3バックによる守備を基調に、素早いパス回し、鋭く華麗なドリブル突破など魅惑の攻撃サッカーを展開します。観ているこちらにもハッキリと意図が伝わる。W杯で始めて知ったピギナーなあなたから、てやんでいこちとら日本リーグ時代から観て来たぜ、という玄人衆のあなたにまで楽しめるスタイル。繊細にして大胆。緻密かつ奔放。佐川東京 SC の「フットボール」をぜひタップリとおたのしみください。

われわれ「Tokyo Raiders(トキョーレイダース)」は、そんなシブくてステキな佐川東京 SC を応援しようとあつまった集団です。この愉しみを自分たちだけで独占するのはもったいない、と思いましたので、御来場の皆様にお伝えすべくとりあえずこんな作ってみました。

ご意見ご感想、ご質問はこちらまで tokyoraiders2002jp@yahoo.co.jp

前節より... JFL 第15節 Honda FC 戦 (AWAY? HOME・鴨川)

注目の首位決戦。前半は、中盤での激しいボールの奪い合いが続いた。緊迫した展開の中、前半終了間際にボランチ熊谷(17)が負傷退場。後半54分、熊谷に交替してトップに入っていたFW笠木(25)が、右サイドのスローインから、美しいループシュートを決めて先制。トップ下にエース山本“マサオ”(11)を置くスクランブル態勢でその後も攻めつづけた佐川東京は、80分、相手の浅いラインの裏をつくように、笠木がヘッドで送ったボールをフリーで走りこんだ馬目(9)が右足で決めて2-0。復調したディフェンス陣も高い集中力で Honda の反撃をよく抑え、ロスタイムには途中出場の竹谷(15)のアシストから、またしても笠木がダメ押しとなる3点目をゲット。終了間際に Honda 古橋(10)に意地のボレーを決められるものの、攻守ともに噛み合った完勝で、見事首位を奪取した。今節、大塚製薬も勝利した為、同勝ち点に佐川東京、Honda、大塚と並ぶ三つ巴の展開で JFL は大詰めを迎える事となった。

...さあ、盛り上がって参りました！(ビートたけし調)

今節は... JFL 第16節 佐川急便大阪 SC 戦

フットボールにおける「ダービー」とは、古来より、同じ街に居を構えるクラブ同士や、隣接する地域同士の激しい対抗意識から熱く燃え上がるカードに対しての呼び名であります。国を代表するクラ

ブ同士の戦いも「ダービー」と呼ばれることがあります。「ダービー」は正にフットボールの華なのです。今日の試合も、世間では「佐川ダービー」などと呼ばれ、注目されているようですが、全国規模のリーグで同じグループ企業のクラブ同士が戦う「ダービー」というのも世界的に珍しい事です。(っていうかあり得ない...) 実は、我が佐川東京自体、毎年行われている「社内大会」でかつて最強の名をほしいままにしていた佐川大阪を倒すために現在のチーム作りが行われたという背景を持っています。だから、この試合は、佐川東京の存在意義をかけた戦いでもあると言えます。

最近の対戦は、5月に行なわれた「社内大会」の決勝戦。鳥取戦のわずか2日後という過密日程だった佐川東京の疲れを待つ、という佐川大阪の術中にはまり、1-3と悔しい敗戦を喫しています。初参加となるJFLでは振るわなかったものの、最近、セレッソ大阪からMF川崎・FW羽地をレンタルで獲得するなど補強も行い、尻上がりに調子を上げてきたにっつき佐川大阪。きっちりとおトシマエをつけなければならない。

しかも、佐川東京は前節 Honda との2年越しの戦いに決着をつけ、遂に得失点差で首位に立ったわけで、残り2試合を是が非でも勝って優勝をモノにしたい以上、相手が誰であろうとつまづくわけにはいかない！ 男の意地と、まだ見ぬ栄光を賭けたこの試合。果たしてどんな試合になるのか？

ダービー？チッチッ！甘い甘い、「ダービー」を超えたものが、「佐川ダービー」です！

佐川東京のオニイサン<3> 佐川東京のロベルト・パッジョ、米山(10)

業界騒然のインタビュー企画、第3回は佐川東京の誇る司令塔、米山智選手(10)です。全国一千万人のヨネヤマニアの皆様、お待たせ致しました。...ヨネ様の妙技を味わいやがれ！
今シーズンここまで振り返って 個人的には全試合怪我なく出場できてうまくいっている。

前節の感想 やはり1位対2位の対決ということもあって集中力が違いました。また皆のモチベーションもすごく上がっていてそれが勝利に結びついたと思います。

「佐川ダービー」 社内大会でも負けていますし正直やりにくい相手ですね。ただ Honda 戦の気持ちで戦えばきっといい結果が出ると思います。

俺のココを見ろ FK などセットプレーは僕が蹴っているのでもちろんですが中盤の真ん中にいるので点につながるプレーを心がけています。攻めと守りのバランスをうまくとることに気をつけています。

ドイツ 全てにおいてサッカーに対する熱が違った。僕は当時4部のクラブでプレーしていたのですがプロ選手も5人いて熱狂的なファンも多く熱かったです。(ドイツでは)ヘスラーとマテウスが好きです。ゲームメイクのできる選手に目がいきますね。

次回の選手紹介 う〜〜ん、そうですね...伊藤で！伊藤琢矢で。(理由は)年が同じなので。

次は...

「そして、感動のフィナーレへ。優勝の瞬間を見に行こう」JFL 第17節 YKK FC 戦
11月10日(日)13時キックオフ ~ 桃山陸上競技場

おしらせ

<http://home.att.ne.jp/sigma/nessuno/sagawa/trmain.html> 僕らの佐川東京応援サイトです。観戦記や、掲示板などあります。この紙のバックナンバーもダウンロード可能です。みなさん遊びに来てください。